

これからの栄養科学を考える

2002年に栄養士法の改正が行われ、管理栄養士の業務内容も明確になるとともに登録資格から免許資格になりました。これに併せて新しい教育カリキュラムや国家試験出題基準が取りまとめられ、9教科200題となりました。栄養指導や栄養状態の評価・判定ができる栄養専門家の養成に重点が置かれています。

また、2008年からは、生活習慣病予備軍の減少を目的とし、メタボリックシンドロームを改善する「特定健康診査」が実施され、従来の栄養学、食品学、生化学などの知識に加え、ますます栄養科学の幅広い深みのある知識と応用力が要求されるようになります。

これらのことを踏まえて、管理栄養士の資質向上と、管理栄養士国家試験受験のために公開講座を行います。

■日時：平成20年1月26日（土）・27日（日）10：30～16：30

■会場：県立広島大学 広島キャンパス 大講義室

（10：00より教育研究棟2のエントランスホールで受付を開始します。）

■内容：

1月26日 （土）	10:30～12:00	基礎栄養学	県立広島大学教授 加藤 秀夫
	13:00～14:00	公衆栄養学	県立広島大学准教授 前大道 教子
	14:15～15:15	臨床栄養学1	安田女子大学講師 西田 由香
	15:30～16:30	臨床栄養学2	県立広島大学准教授 岩本 珠美
1月27日 （日）	10:30～12:00	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	県立広島大学教授 嶋本 文雄
	13:00～14:00	栄養教育論	広島女学院大学講師 市川 知美
	14:15～15:15	給食経営管理論	県立広島大学准教授 杉山 寿美
	15:30～16:30	応用栄養学	県立広島大学准教授 栢下 淳

■対象：幅広く栄養科学の知識を深めたい人、管理栄養士国家試験の合格をめざす人

■募集人数：100名程度

■受講料：両日参加…6,200円／1日参加…5,200円

■申込方法：申込書と80円切手を貼った返信用封筒（申込者の宛先記入）を、平成20年1月7日（月）（消印有効）までに次の宛先に郵送してください。折り返し、受講料振込書をお送りします。なお、振り込まれた受講料はお返しできませんので、ご注意ください。

〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71
県立広島大学地域連携センター「栄養科学講座」係
TEL 082-251-9534

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。

■主催：県立広島大学

■講義概要：

1月26日（土）

「基礎栄養学～栄養とは何か？～」(加藤秀夫)

健やかに生きるためにはいつ、なにをどれくらい、どのようにして食べるか？ 健康の保持・増進、疾病の予防における栄養の役割を中心にエネルギーおよび栄養素の代謝とその生理的意義を解説する。

「公衆栄養学～公衆栄養マネジメントと健康づくり対策～」(前大道教子)

地域で生活しているさまざまな人々の健康づくりと QOL の向上をめざす公衆栄養マネジメントのほか、日本における健康づくり対策の変遷を探り、健康・栄養問題の現状と課題を捉え、平成 20 年度から実施される生活習慣病対策を中心に解説する。

「臨床栄養学 1」(西田由香)

管理栄養士は栄養状態を総合的に判定し、経口摂取、経腸栄養法、静脈栄養法を駆使した適切な栄養療法を立案・実施しなければならない。栄養アセスメントおよび栄養管理のための理論的背景や手法について解説する。

「臨床栄養学 2～生活習慣病の病態と栄養管理～」(岩本珠美)

生活習慣病の病態とその栄養評価および適切な栄養管理を解説する。肥満、糖尿病、脂質異常症、高血圧の病態は、動脈硬化性疾患の発症、進展を促す。このリスクを抑えるためにメタボリックシンドロームの診断基準が作成された。

1月27日（日）

「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」(嶋本文雄)

臨床の現場において、疾病の治療方針の決定に参画することが必要になっている。従来にもまして「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」の基礎的な知識が要求される。消化器疾患を中心に解剖、病理学的な解説をする。

「栄養教育論」(市川知美)

食行動変容に必要な栄養教育の理論やカウンセリング・コーチング技法のほか、栄養教育を効果的に行うための栄養アセスメント、カリキュラムの立案・実施・モニタリング・評価方法を中心に解説する。

「給食経営管理論～厨房設備と経営管理～」(杉山寿美)

給食施設の厨房設備は安全な食事提供を目的として HACCP 概念を取り入れている。しかし、安全は食事の基盤であり、食事を生産し提供することの目的ではない。給食に求められる品質やその品質を保証するための施設設備を中心に解説する。

「応用栄養学」(栢下 淳)

世界的に高齢者の数は増加しているが、日本においては、その傾向は顕著である。高齢期では、肥満と関連する生活習慣病のみならず、低栄養や骨粗鬆症なども増加している。本科目においては、健やかな高齢期を迎えるために、①成長期の適切な食事 ②中年期の適切な食事、特にメタボリックシンドローム対策 ③高齢期の適切な食事 について話題提供する。

..... きりとり

No. _____

平成 19 年度県立広島大学公開講座申込書

講座名	これからの栄養科学を考える	参加日	・ 26 日 ・ 27 日 ・ 両日
ふりがな お名前		電 話	() -
ご住所	〒		